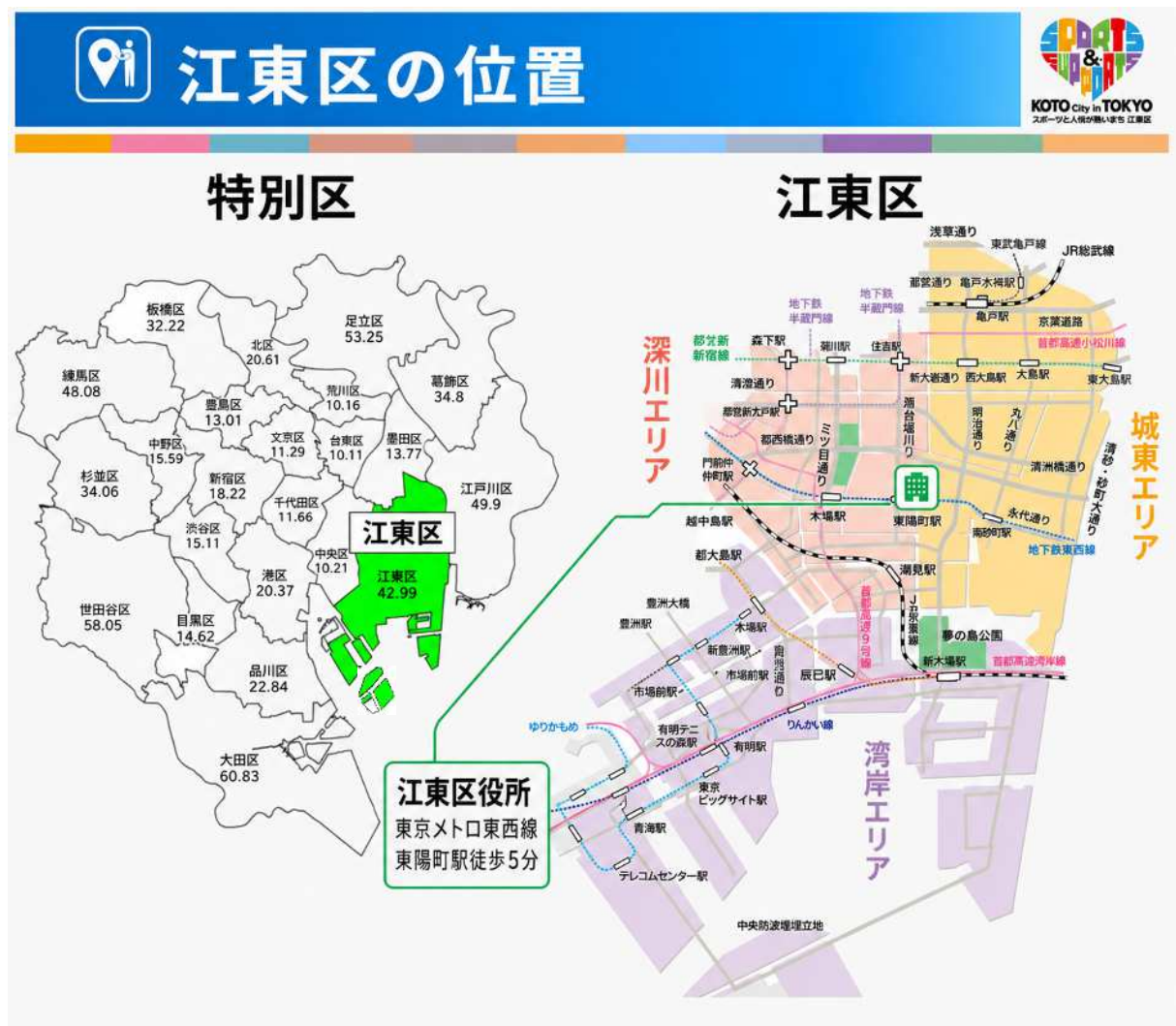


江東区の概要について

1 江東区基礎データ

区制執行年月日	昭和 22 年 3 月 15 日
面積	42.99 km ² (国土交通省 全国都道府県市区町村別面積調) (6 位/23 区)
人口	543,193 人 (住民基本台帳、令和 8 年 1 月 1 日時点) (8 位/23 区)
世帯数	297,147 世帯 (住民基本台帳、令和 8 年 1 月 1 日時点)
事業所数・従業者数	事業所数 17,639 従業者数 418,165 人 (令和 6 年 経済センサス基礎調査)
予算	2,927 億円 (令和 8 年度当初予算一般会計)
職員数	2,848 名 (令和 8 年 4 月 1 日時点、一般職に属する常勤の職員数の合計)
基本理念 ※江東区基本構想(平成 21 年 3 月)より	・次の世代が誇れる江東区をつくります ・区民と区がともに責任を持って江東区をつくります ・区民が生き生きと暮らせる江東区をつくります
江東区の将来像※	みんなでつくる伝統、未来 水彩都市・江東



2 江東区の人口動態

- 本区の人口は平成 9 年以降増加に転じ、平成 27 年には 50 万人を超えた。令和 4 年に 25 年ぶりに総人口が減少したが、令和 5 年には再び増加に転じ、令和 8 年には 54 万人規模へと着実に増加している。
- 平成 31 年以降、年少人口は緩やかな減少傾向にあるが、一定規模は維持されている。生産年齢人口は人数としては増加傾向にあり、中心的なボリュームを維持している。
- 外国人人口割合は、年々増加し、多様性のある地域社会が形成されている。
- 地区別人口構成比では豊洲、小松橋、東陽の構成比が増加し、相対的に大島、砂町、南砂では構成比の減少がみられている。

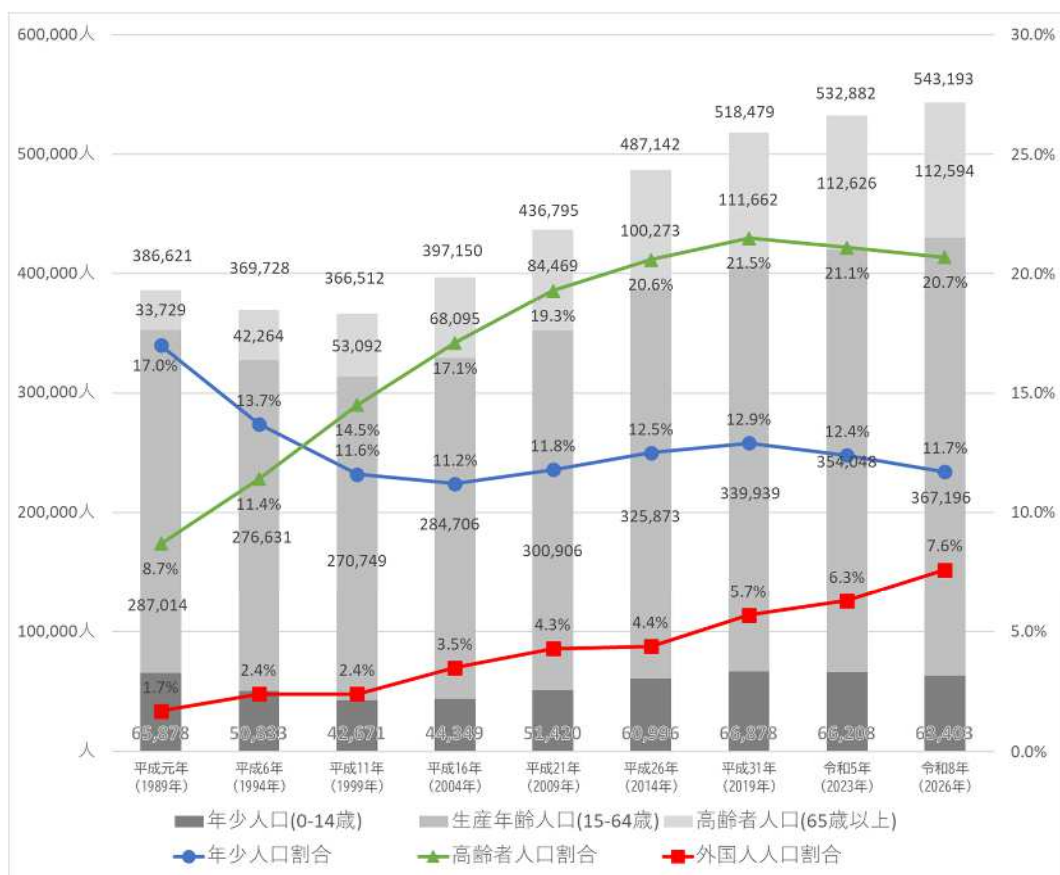


図 江東区年齢階級別人口・構成比、外国人構成比推移(各年1月1日時点)
※住民基本台帳法改正に伴い平成 25 年以降の人口数値には外国人を含む

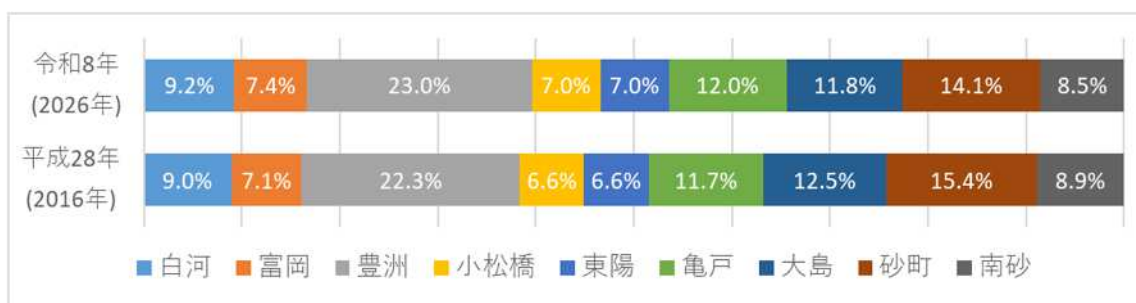


図 江東区地区別人口構成比(10年前と現在)



3 区の財政

- 一般会計予算額は人口増加等に伴い増加傾向が続いている。
- 令和 2～4 年度は、新型コロナウイルス感染症対応等の影響による補正予算編成により、当初予算額から大幅な増額となった。
- 令和 8 年度の「一般会計」の当初予算額は 2,927 億 2,600 万円で、過去最大の予算規模となっている。前年度に比べ 142 億 7,300 万円、5.1%の増額となった。

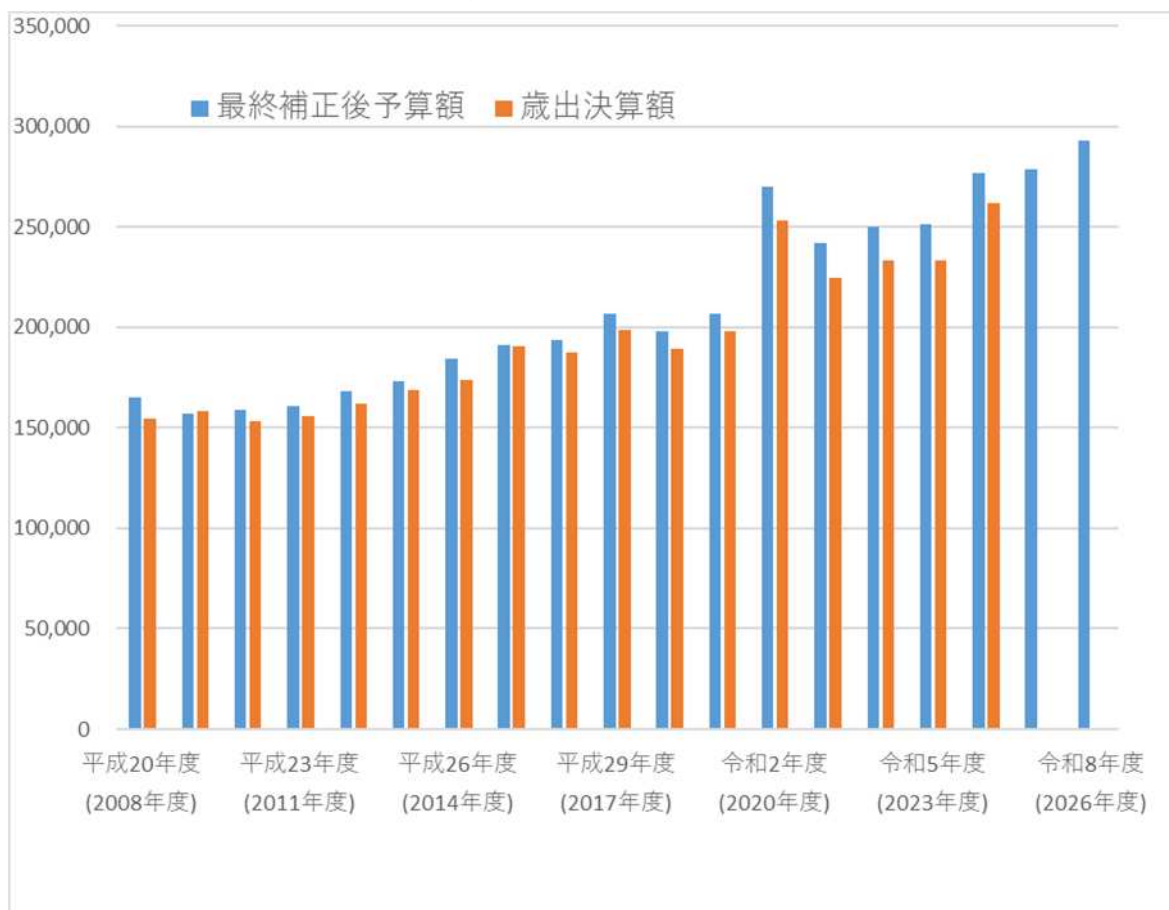


図 江東区一般会計予算額推移 (単位:百万円)
(令和 7 年度までは最終補正後予算額、令和 8 年度は当初予算額)

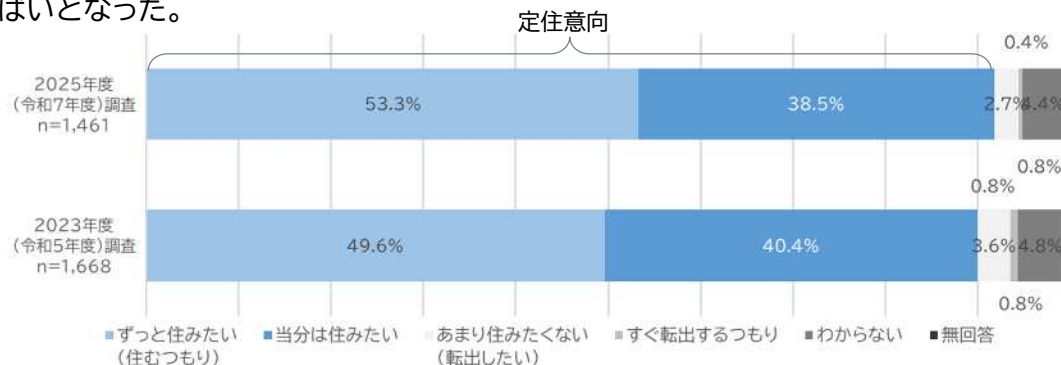
表 令和 7・8 年度当初予算比較 (単位:百万円)

区分	8年度	7年度	増減額	増減率
一般会計	292,726,000	278,453,000	14,273,000	5.1
国民健康保険会計	46,896,000	47,122,000	△226,000	△0.5
介護保険会計	43,550,000	42,217,000	1,333,000	3.2
後期高齢者医療会計	15,164,000	13,324,000	1,840,000	13.8
合計	398,336,000	381,116,000	17,220,000	4.5

4 区民の意向 令和7年度世論調査より

4.1 定住意向

- 令和7年度調査において91.8%の区民が定住意向である。
(前回:令和5年度調査の90%より微増)
- 10年前(平成27年度90.2%)と比べると、定住意向割合は増加し、転出意向割合はほぼ横ばいとなった。



4.2 施策への要望 3つまで回答可の設問、第1～第3順位の合計

- 前回調査(令和5年度)と同様、防災対策が突出して高く、46%の回答者が要望している。
- 次いで健康・医療、防犯、まちづくりなど生活基盤・安全関連の需要が上位を占めている。

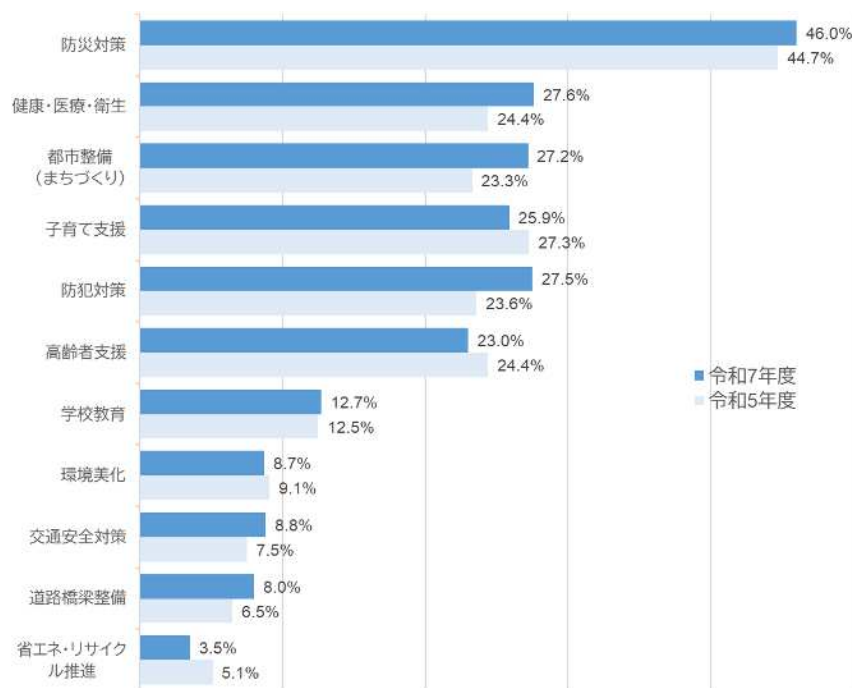
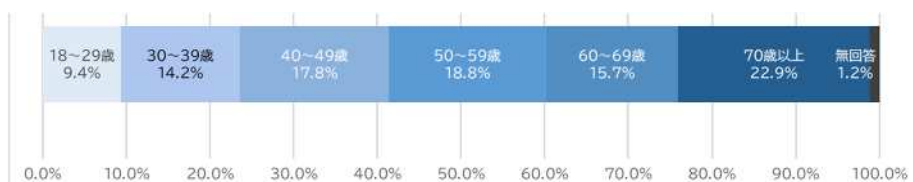


図 施策への要望 (n=1,661)



参考図 回答者の年齢構成比

5 区の主要課題 江東区長期計画より

5.1 重要課題 地下鉄8号線の延伸

- 区の南北を結ぶ交通網の利便性を高め、江東区の新たなまちづくりを進めるために、長期計画(前期)において政策的な課題として、「地下鉄8号線の延伸」を掲げた。
- 令和3年7月、国の交通政策審議会答申において、地下鉄8号線延伸は「早期の事業化を図るべき」とされた。これを受け、東京メトロは令和3年8月に十分な公的支援等を前提に地下鉄8号線延伸の事業化に向けて取り組むことを表明した。
- 東京メトロは、令和4年1月に地下鉄8号線延伸の鉄道事業許可を国土交通大臣に申請し、令和4年3月28日付で国土交通大臣より許可を受けた。
- 令和5年3月、「江東区地下鉄8号線沿線まちづくり構想」を策定。令和6年6月の都市計画決定を経て、同年11月に工事着手されるなど、2030年代半ばの開業を目指し、事業が着実に進んでいる。
- 2030年代半ばの開業を見据え、地域住民や地元企業とともに沿線各駅周辺のまちづくりに取り組むことで、地域資源を活かしながら、新たなにぎわいを創出し、人や地域を相互につなぐ、区の一体的な発展を目指していく必要がある。

5.2 重要課題 災害に強いまちづくりの実現

- 近年、地球温暖化などの気候変動と、その影響による豪雨災害などの頻発化が大きな課題となっている。
- 令和3年時点で首都直下地震に関する30年以内の発生確率は、70%と予測されており、巨大地震による災害リスクの高まりが懸念されている。区民が安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくりに、取り組む必要がある。
- 激甚化・頻発化する集中豪雨や地震等の災害による被害を最小限に抑えるため、さらなる建築物の耐震化、不燃化の促進、救護体制の確立など総合的な視点から対策を進めていく必要がある。
- すべての区民が災害を「我が事」として捉え適切な行動につなげるため、防災意識を醸成するとともに、自主防災組織(災害協力隊)への支援など、家庭や地域における防災の取り組みを促進していく必要がある。

5.3 重点プロジェクト

重点 1	水彩・環境都市づくり 江東区内の豊かな河川や運河、緑などを効果的に活用し、さまざまな主体と取り組みを連動させることで、水彩都市におけるにぎわいや、みどり豊かなうるおいのあるまちを形成するとともに、「ゼロカーボンシティ江東区」を実現するため、「水彩・環境都市づくり」を重点プロジェクトに掲げ、推進していきます
重点 2	こどもたちが希望を持てるまちづくり 未来を担うこどもたちが健やかに成長できる環境が整った社会の実現に向け、就学前の教育・保育環境の充実や保護者のサポート、学校教育の充実、こどもたちの居場所づくりなど、切れ目のないこども・保護者への支援を充実するため、「こどもたちが希望を持てるまちづくり」を重点プロジェクトに掲げ、推進していきます
重点 3	地域の活力を生み出すまちづくり 地域住民が主体的に多様化・複雑化する地域課題に向き合うとともに、多様な主体が持つアイデアやノウハウなどを融合させ、新たな価値を創造するとともに、地域と企業が元気になる支援に取り組むため、「地域の活力を生み出すまちづくり」を重点プロジェクトに掲げ、推進していきます
重点 4	誰もが安心して住み続けられる社会づくり 少子高齢化や核家族化の進展などにより、支えあいの基盤が弱くなっている中で、誰もが世代や分野を超えてつながることで地域とともに支えあい、健康で安心してその人らしい生活をおくることができる社会の実現に向け、「誰もが安心して住み続けられる社会づくり」を重点プロジェクトに掲げ、推進していきます
重点 5	持続的に発展するまちづくり 各地域における都市機能の再生・強化を図るとともに、区民一人ひとりにとって良好で快適な都市環境を整えるため、「持続的に発展するまちづくり」を重点プロジェクトに掲げ、推進していきます
重点 6	臨海部のまちづくり 臨海部が有する多様で魅力的な資源やポテンシャルを最大限に活かし、時代の流れを適切に捉え、新たなにぎわいを創出するとともに、水と緑に囲まれた豊かな環境の中で多くの区民にとって憩いの場となるよう、「臨海部のまちづくり」を重点プロジェクトに掲げ、推進していきます
重点 7	区の魅力を発掘・発信し続けるまちづくり 区内外へ江東区の魅力を積極的かつ戦略的にプロモーションすることで、多くの人が江東区に訪れてみたい、江東区に住んでみたい、住み続けたいと思ってもらう取り組みを進めるため、「区の魅力を発掘・発信し続けるまちづくり」を重点プロジェクトに掲げ、推進していきます